



漂泊の
浮世絵師

Paul Jacoulet

ポール・ジャクレー

1930年代～1950年代の
多色木版画に見る日本とミクロネシア

日仏会館ギャラリーオープン記念

A l'occasion de l'inauguration de la
Galerie de la Maison franco-japonaise

2015.1.23 (金) — 2.15 (日)

◎ 展示 / 日仏会館 2階ギャラリー

◎ 講演会 / **2015.2.6 (金)**

L'univers
flottant de
**Paul
Jacoulet**

Le Japon et la Micronésie
à travers ses estampes
des années 1930
aux années 1950

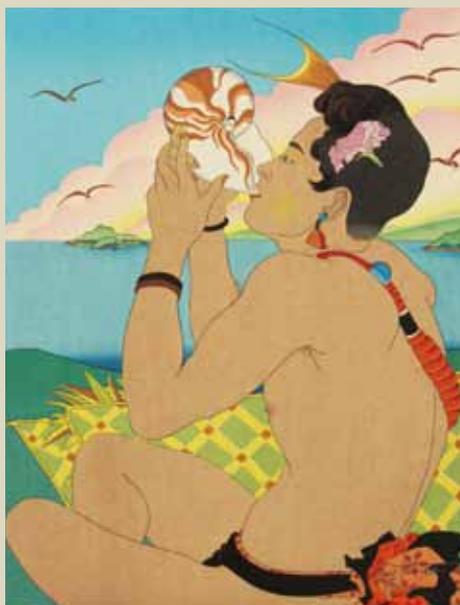
● Conférence
de Christian Polak
le vendredi 6 février 2015

Exposition à la Galerie de la Maison franco-japonaise
23 janvier - 15 février 2015

漂泊の浮世絵師 ポール・ジャクレー

1930年代～1950年代の多色木版画に見る日本とミクロネシア

ポール・ジャクレー（1896-1960）は、パリに生まれ、3歳のときに家族とともに日本に移住し、生涯を過ごした。1929年から1932年まで毎年ミクロネシアの島々に滞在し、その間に描きためた南洋の自然や土着の文化を題材とした水彩画をもとに、浮世絵の手法を用いて多色木版画を制作した。ジャクレーは、伊豆大島や北海道など日本各地の伝統的な生活を情緒豊かに描いた作品も残している。近年、フランスの国立ケブランリー美術館で開かれた大回顧展をきっかけに、再び注目を集めている。



1



2



3



4

日仏会館ギャラリーオープン記念

A l'occasion de l'inauguration de la
Galerie de la Maison franco-japonaise



ポール・ジャクレー 軽井沢のアトリエにて、1953年

◎展示

2015年1月23日(金)～2月15日(日)

日仏会館2階ギャラリー

入場無料

開館時間 11時～19時(月休館)

◎講演会

2015年2月6日(金)

18時～19時半/日仏会館1階ホール

「漂泊の浮世絵師 ポール・ジャクレー」

【講師】 クリスチャン・ポラック
(明治大学、社会科学高等研究院)

【主催】 (公財) 日仏会館
日仏会館フランス事務所

【後援】 日仏美術学会、ジャポニスム学会

【逐次通訳付き】

【要オンライン参加申込】 www.mfj.gr.jp

◎日仏会館

150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25

Tel 03-5424-1141

Fax 03-5424-1200

HP <http://www.mfjtokyo.or.jp/>

【アクセス】

JR 恵比寿駅東口より徒歩約10分

東京メトロ日比谷線恵比寿駅 1番出口より
徒歩約13分

表 オロール島の少年、東カロリン諸島|1940
Les Enfants aux yeux jaunes, Ohlol,
Est Carolines

1 オウム貝、ヤップ島|1958
Le Nautilus, Yap

2 フィジーの娘(花の組の内)|1935
Une jeune fille de Fidji, Océanie

3 清馨さん|1935
La Geisha Kiyoka, Tokyo

4 大漁祝、伊豆|1939
La Pêche miraculeuse, Izu, Japon

© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015
(1941年以前の作品に限る)